

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 1 月 3 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科マーケティングコース
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 1 月 9 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	アーカンソー州立大学(日本語名) Arkansas State University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024 年 8 月～2024 年 12 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8～12 2 学期: 12～1 3 学期: 1～5 4 学期: 5～6
学生数	約 9000 人
創立年	1909 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 155 円)	B 日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	\$2600	円	
食費	\$2385	円	
図書費	\$80	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費		25000 円	
現地交通費	\$300	円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$120	円	
旅費(留学中)		200000 円	
被服費	\$150	円	
医療費	0	円	
保険費	\$358	46760 円	形態: 大学指定の留学保険
渡航旅費		356,720 円	
ビザ申請費		29600 円	
雑費	\$300	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	\$6293 (=975415 円)	658080 円	
総計(A+B) ※円		1633495 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田空港 目的地：メンフィス空港 経由地：仁川空港、ロサンゼルス空港

復路 出発地：メンフィス空港 目的地：羽田空港 経由地：ニューヨーク、ロンドン、パリ、ドイツ、イタリア、スペイン

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：アジアナ航空、アメリカン航空 料金：202,130

復路 航空会社：アメリカン航空、アイスランドエア、ブエリング航空、ITA Alirways 料金：154,590

∴合計：356,720

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：Trip.com, My trip)

☒ インターネット(サイト名：スカイキャナー、Trip.com, My trip)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：Kay's Hall)

☐ アパート

☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室

☒ 相部屋(同居人数 2)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学の案内から選択

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

相部屋のためプライベートスペースはありませんでしたが、ルームメイトと交流することができました。部屋を決める際に就寝時間や室温の好みなどについてのアンケートが実施されるため、生活習慣のずれによるストレスはそこまでなかったように感じます。Kay's Hall 以外の寮もあるため、自分に合ったものを選ぶと良いと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

基本的にキャンパス内で生活が完結するため危険を感じることはありませんでした。防犯対策としてはものを置いたままその場を離れないなど、基本的なことのみおこなっていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

自室や学校の施設内では Wi-Fi が設置されていたため安定して使うことができました。

5) 現地で資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にクレジットカードが支えるため、現金は日本で出国前に両替した分のみを使った。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

洗顔料

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☒ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった: 12 単位以上 15 単位以下	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Neil Griffin College of Business
履修期間	8～12 月
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Julia Y. J. Jeong, Ph.D.
授業内容	マーケティングの基礎的な知識を身につける授業です。実際の事例や広告について近くの生徒と話し合う時間がありました。
試験・課題等	試験は 4 回あり、選択式の問題と短文回答のものがありました。難易度はばらつきがあり、ある程度の勉強は必要です。期末にはグループでのプレゼンテーションがありました。
感想を自由記入	マーケティングの基礎を学ぶことができた。明治大学での授業と比べ 1 クラスあたりの人数が 30 人程と少なく意見交換の場が多かった。内容自体は基礎的なものだが、議論をする中で理解を深めたり、新たな考え方を得ることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Principles of Management		経営の原則
科目設置学部・研究科	Neil Griffin College of Business	
履修期間	8～12 月	
単位数	3 単位	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Dr. Ali Abu-yasein	
授業内容	マネジメントの入門です。授業は先生が話している時間が多く予習と復習で理解を深める必要があった。	
試験・課題等	試験は 1 度もなかったです。毎週のディスカッションボードとクイズに加え、プレゼンテーションやマネージャーインタビューなどがありました。	
感想を自由記入	経営学の基礎的な部分について学んだ。授業自体は教授が一方的に話す時間が多いように感じた。毎週の課題の中で他の生徒とディスカッションするものがあり、他の生徒のいろいろな考え方を知ることができ興味深かった。基本的には週 2 回の授業だったが、そのうちの一回は自習のようなかたちで出席が必須ではなかった。日々の授業のほかに、マネージャーインタビューの課題など少し変わった課題もあった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Business Communication		ビジネスコミュニケーション
科目設置学部・研究科	Neil Griffin College of Business	
履修期間	8～12 月	
単位数	3 単位	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Dr. H. Steve Leslie	
授業内容	ビジネスシーンにおけるコミュニケーションの取り方やメールの sh 方などについて学んだ。	
試験・課題等	3 回の試験があった。基本的に練習問題の中から出題されるため勉強すれば点数を取ることができる。期末にはグループプレゼンテーションがあった。	
感想を自由記入	就職活動の中での SNS の使い方やビジネス上での生成系 AI の活用方法などすごく実用的で学びの多い授業であった。また、就職活動におけるレジュメやカバーレターの書き方など日本とは異なる部分もあったため、アメリカで就職しようと考えている人には特に効果的な授業になると思う。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Oral Communication		口語英語	
科目設置学部・研究科	Humanities and Social Sciences		
履修期間	8～12月		
単位数	3単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Hillary McNerney		
授業内容	英語でのプレゼンテーション		
試験・課題等	4回のプレゼンテーションがあった。最後のプレゼンテーションはペアでのプレゼンテーションだった。		
感想を自由記入	主にプレゼンテーションにの仕方について学んだ。新入生のほとんどが受講する授業であるため、評価は緩く、出席や課題に取り組む態度が評価されているように感じた。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)
☒ 就職 ☐ 進学 ☐ 未定 ☐ その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。 ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	語学試験の勉強
	10 月 ~ 12 月	選考
留学開始年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	ビザの申請、滞在先確保
	8 月 ~ 9 月	授業
	10 月 ~ 12 月	中間試験、Thanks Giving 期末試験
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

世界 1 の経済大国であるアメリカでビジネスについて学びたかったためアメリカへの留学を選びました。一学期間の留学生生活を通じて一番重要だと感じたのは積極性です。4 ヶ月間はあっという間で話しかけてもらったり誘われたりするのを待っていると何もせずに終わってしまいます。イベントやクラブ活動などとりあえず行ってみると、友達ができたり、新たな発見があったりするのでぜひ積極的に行動して留学生生活を楽しんでください。